

知っていますか？ 麻生の真下をリニアが通る

リニア新幹線を考えるシンポジウム

とき:10月7日(日)18:00~20:30

ところ:麻生市民館大会議室(麻生文化センター内) 小田急新百合ヶ丘駅徒歩5分

講演:上田昌文氏

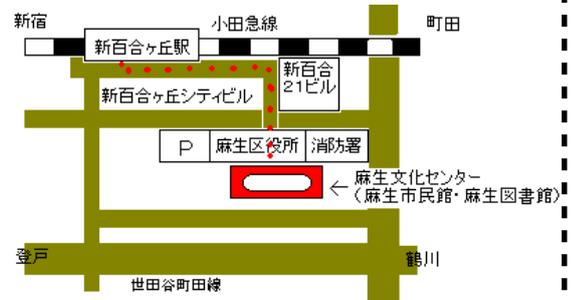
(NPO 法人市民科学研究室) 他

資料代 500 円

主催:リニア新幹線を考える麻生の会

共催:リニア新幹線を考える宮前の会

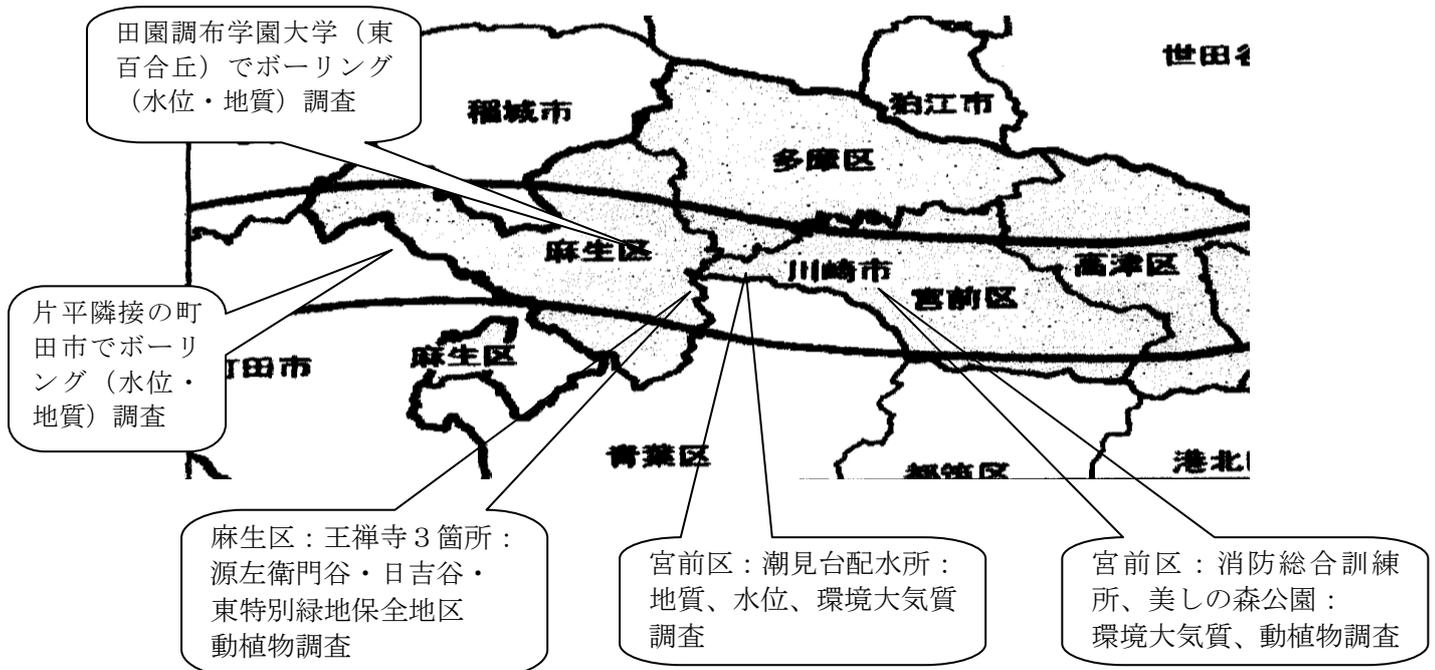
リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会



JR東海は、品川・名古屋間286kmの「リニア中央新幹線」の建設を計画しています。超伝導技術を導入し、時速500キロで40メートルの「大深度地下」を10cm浮き上がって疾走します。麻生区を含む川崎市の真下を通るリニア新幹線、住民への影響はどうか？私たちはこれらの問題を明らかにするためにシンポジウムを計画しました。どうぞお気軽にご参加ください。

リニア新幹線の立坑予定地か？環境調査が各地で！

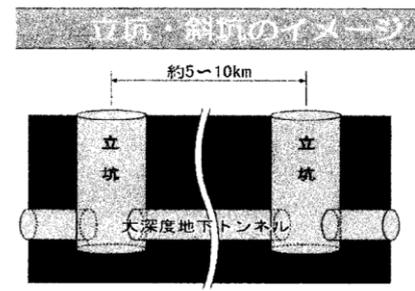
川崎市内は、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区の地下を3km幅、全長20kmの想定ルートで通過し、5-10km毎に地上と繋がる立坑を建設する必要があり、このためJR東海は7月より4地区の市有地をはじめ各地点でボーリング等による地質・水位や動植物などの調査を開始しています。



沿線地域で立坑が建設されると、工事完了までの10数年間にわたりトンネル工事で掘り出した大量の土砂を積んだトラックが行き来し、工事騒音や振動が周辺環境に影響します。リニア新幹線の走行時には立坑付近で発生する電磁波や、地震・火災等事故発生時の対応など、地域住民にとって直接影響する問題となっています。

★リニア新幹線の問題点

- 超伝導リニア技術は十分な情報公開が無く、本当に乗客の安全が保障されるか？
- 高压線の10倍といわれる電磁波の、乗客や沿線住民への影響はどうか？
- 近い将来予測される首都圏直下型地震や、多くの活断層や中央構造線がある沿線周辺で大地震が発生した場合、乗客の安全はどのように保障されるのか？
- 全長の8割以上が地下・トンネルと言われる工事で、排出される膨大な土砂の量や搬出・処理方法はどうか？ 工事に伴う騒音、地下水枯れ、動植物等の自然破壊の恐れは？
- 在来新幹線の3倍と言われる電力の消費は、原発の稼動を前提にしたものではないのか？
- 9兆円以上もの建設資金の調達はどうするのか？ 将来、赤字路線として国民負担になる恐れは本当に無いのか？



立坑・鉄道のイメージ

約5~10km

立坑

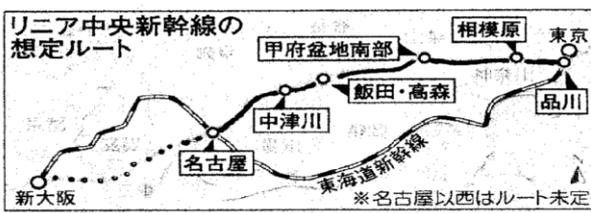
大深度地下トンネル

大深度地下トンネルのために、相当規模の立坑及び施工ヤード(数千~1万㎡程度)が必要。立坑は、約5~10km間隔で設置される。

＜リニア中央新幹線計画とは＞

- ◆事業者：JR 東海
- ◆路線概要：延長 286 km
(山梨リニア実験線 全体 42.8 km)
- ◆最高設計速度：505 km
- ◆総事業費：9兆300億円
- ◆計画予定

2014年度：工事計画認可・着工
2027年：東京—名古屋間 開業
2045年：大阪まで全線開業



リニア中央新幹線の想定ルート

相模原 東京 品川

甲府盆地南部 飯田・高森 中津川 名古屋

東海道新幹線

※名古屋以西はルート未定

★不十分な8月21日 JR 東海・県期成同盟共催の「リニア説明会」

神奈川県で1ヵ所(橋本)のみ行われたこの「リニア説明会」は、ウェブでの事前登録という広報上の問題と同時に、従来の抽象的な説明の範囲に留まり、住民の具体的な質問に答えるものではありませんでした。又、時間の制約を理由に10名を越える質問者の発言も打ち切れ、参加者の憤懣も解消できません。このため、私達は再度説明会の開催を要求するとともに、JR 東海や沿線の行政当局が住民のもとに足を運び、下記の住民の疑念に対し具体的かつ説得力ある説明を行うよう要望するものです。それらの説明が無いままのリニア新幹線計画に対してはその凍結を強く求めます。

★リニアは原発と同じ構造—国民負担に転嫁されるのでは？

JR 東海は、「現行の東海道新幹線が老朽化し将来大規模な改修工事が必要になるため、リニア新幹線と『二重化』したい」との説明ですが、現在の新幹線でさえ乗客数は頭打ちで今後大幅な乗客増が望めないのに、更にリニアと『二重化』すれば、双方ともに採算割れで赤字路線に転落するのは明白です。料金の大幅値上げや国税の投入など、将来の世代にツケが回る恐れがあります。

リニア新幹線を考える麻生の会

私たちは、昨年の住民説明会のあと、納得いかない思いで勉強会を始めた麻生区民の集まりです。JR 東海や自治体にリニア新幹線の計画に関する情報公開を要求し、住民が納得できない建設計画の凍結を求めています。誰でも参加できますのでご連絡ください。

連絡先: 矢沢美也 090-6108-6568, yazawa57747@yahoo.co.jp